

## 空挺初降下訓練を見学して



C-130輸送機から  
飛降りる空挺隊員



ファストロープによる降下訓練



圧倒される観客

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、1月10日（日）、陸上自衛隊習志野演習場において、自衛隊横浜上大岡募集相談員会主催の第1空挺団降下訓練始めの見学を支援した。

当日は小春日和の穏やかな天候で、空挺隊員がテンポよく次から次へと空自輸送機から飛び出してくる様は、まるで風に舞うたんぽぽの種子のようであった。

第2部の訓練展示ではヘリコプターから1本のロープをつたって降り、すぐさま戦闘態勢に入っていく様子は自然でスムーズな動きであった。

個々の隊員と航空機などの大型装備との連携があまりにスムーズであることにひとつの「美」が感じられ、入隊予定者及び募集協力者はこの成熟した動きに感激し、あらためて陸上自衛隊の精強性を感じている様子であった。

上大岡募集案内所は、「今後も、協力団体等事業を積極的に支援し、国防について認識を深めてもらうとともに、募集成果につなげていきたい」としている。

## 大井産業まつり

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 米田2陸尉）は、1月17日（日）、大井産業まつり（大井町）に参加し広報活動を行った。

大井産業まつりは、昨年初めて参加し今回で2回目となる。

当日は、自衛官募集相談員の協力を得て、自衛隊ブースを展開するとともに、パジェロを展示した。ブースには、地域の住民などが多く集まり賑わいをみせるなど、大井町における自衛官募集について理解を深めることができた。

小田原地域事務所は、「今後も、次年度以降も広報効果の向上を図るためイベント参加の拡充を図り自衛官募集を展開していく」としている。



自衛官募集ブースの状況